

聞かせて下さい、あなたの人生。

～「聞き書き」というボランティア～

聞いてごらん、子どもの頃の話、つらかった戦争体験を。
教えてもらおう、生活の知恵を、身につけた技術を。
お願いしよう、孫たちへの伝言を。

するとね、
おじいちゃん、おばあちゃんの心の扉が開いて、
笑顔を見せて話してくれるのさ。

そのキラキラした話を宝物のように大切に書き、
後世に残しておくのが「聞き書き」さ。

読んでいるうちにね、
耳を傾けると、ほら、聞こえてくるよ。
おじいちゃんの声が、おばあちゃんの歌が。

ほら、見えるでしょ。
おじいちゃん笑顔が、おばあちゃん澄んだ瞳が。

小田 豊二（作家・日本聞き書き学会講師）

「聞き書きボランティア」とは…

人生の先輩であるお年寄りに、どう生きてこられたかを語っていただき、聞き手は、その経験、知識、知恵を後世に伝える橋渡しをします。語り手は、語ることでご自身の人生を振り返り、幸せな出来事や頑張ってきたことを思い出すことで、生き生きとした表情を見せて下さり、自分のしてきたことの意義を見出したり、「まだ、やれることがある」ことに気づいたりします。ボランティアが傾聴することが心のケアにもなります。

聞き手であるボランティアは、語って下さる内容から様々なことを教えられます。自分の生まれる前の社会のこと、先人たちの苦勞、生活の知恵などなど。それは、「お年寄りがひとり亡くなると、地域にひとつ図書館がなくなる」と言われるくらい。お聞きしたことを一冊の本にしてお渡しすることで、ご家族からも喜ばれることがあります。

私たちが「聞き書き」に出会い、小田豊二先生からご指導を受けて、ドキドキしながら初対面のお年寄りのところに伺ったのが、2年前。この間、沢山の出会いと、別れもありました。私たちを育ててくれたおじいちゃん、おばあちゃんに感謝し、私たちも「次の世代」へのバトンタッチを始めたいと思います。学生の皆さんが一人でも多く参加して下さいることを期待して…。

（白十字在宅ボランティアの会 聞き書きボランティア）

◆「聞き書き」の活動、体験談、基本的な手法について、小田豊二先生に教えて頂きます。

日 時:2009年6月23日(火)

18:30~21:00

会 場:ルーテル市ヶ谷センター会議室(新宿区市谷砂土原町 1-1)

受講料:学生・会員 500 円、一般 1000 円

定 員:80 名

【各線 市ヶ谷下車】

◎JR 総武線 地上出口 歩 7 分

◎都営地下鉄新宿線 A1 出口 歩 7 分

◎東京メトロ有楽町線 5,6 番出口 歩 2 分

◎東京メトロ南北線 5,6 番出口 歩 2 分



一人の人間の人生の内実は文庫蔵一つに相当するといふとらえ方に、私は全面的に共感する。だが、せっかくの貴重な文庫蔵が、毎年百万単位で失われていくのが現実の姿だ。これからの日本人に語り伝えるべきものは、実は身近にいる父母や祖父母の人生の記録ではないか。高校生や大学生が「聞き書き」ボランティア活動をするのを奨めたい。

(柳田邦男・文藝春秋巻頭エッセイより抜粋)

お申し込み・お問い合わせ

NPO 法人 白十字在宅ボランティアの会

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7 ディアコート砂土原 204

TEL/FAX 03-5935-7708 ※担当外出時は留守番電話になっています。

E-Mail volunt-hakujuji@coast.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.hakujuji-net.com/>

※郵便・FAX・メールの場合は、「聞き書き講座希望」と記載の上、郵便番号・住所・氏名・電話番号・職業を記して、上記までお申し込み下さい。